

切に行い、良好な施設の維持管理に努めます。

また、本年度は、老朽化したスクールバス1台を更新し、通学環境の整備に努めます。

2点目は、教材購入の保護者負担の軽減です。

昨年まで学校が保護者から徴収していた教材購入費を公費負担とし、児童生徒一人あたりの保護者の負担軽減を図ります。

3点目は、児童生徒への就学支援です。

経済的理由により就学困難な児童生徒の保護者へ援助する、要・準要保護児童生徒就学援助費については、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を新たに支給対象費目とし、支援の充実に努めます。

また、小学校および中学校とも修学旅行対象経費の半額を助成する支援を行います。

4点目は、高等学校教育への支援です。

少子化等の影響により厚岸翔洋高等学校への入学者確保が厳しい状況にあります。本年度も高校通学バス定期券購入費助成を実施し、保護者負担の軽減と入学者確保のための支援を行います。

また、厚岸翔洋高等学校の特色ある教育活動を小中学校の教育に生かすとともに、引き続き小学校・中学

校・高等学校の児童生徒間、教職員間の交流・連携を深め、厚岸翔洋高等学校の教育活動を支援します。

5点目は、厚岸町立学校適正配置計画です。

町立学校の配置については、子供たちへの学力保証はもとより、豊かな人間性や社会性を育む観点から、『厚岸町立学校適正配置計画』に基づいて適正配置に努めているところですが、今後も保護者や地域の皆さんと十分協議しながら進めます。

6点目は、教職員住宅の適正管理です。

教職員の住宅に対する要望を把握し、保有している教職員住宅を計画的に整備します。

本年度は、湾月地区の住宅1戸の改修を行い、他の教職員住宅についても効果的な維持補修を実施し、快適な住環境を提供します。また、老朽化により入居困難な住宅については、計画的に解体を行い適正な管理に努めます。

### 社会教育の推進

町民が心豊かで生きがいのある生活を送るためには、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かせる環境が必要です。

社会教育は、人々が暮らしの中で学習活動などを通じ地域の絆を強め、

を念頭におき、整理・保管・展示に努めます。

また、本年は、北海道と命名されてから150年目を迎えます。これを機会に厚岸の文化財とその保護への意識高揚を図るため、企画展や講演会、古文書教室などを開催し、文化財の普及・啓発活動に努めます。

国指定史跡国泰寺跡の整備事業については、史跡の整備を推進するため、その保存と教育的・学術的活用

に努めます。

北海道指定天然記念物の『床潭沼の緋鮎生息地』については、昨年の調査で17年ぶりにヒブナの生息を確認しましたが、本年も引き続きその生息の確認調査を実施するとともに、床潭沼の自然環境の大切さを広く町民に周知し、その保全に努めます。

町指定無形文化財の『厚岸かぐら』については、その継承活動への支援とともに、町民文化祭の芸能発表などに積極的に参加し、伝承校である真龍小学校と連携を図りながら、子供たちの地域の伝統文化に触れる機会の充実に努めます。



活力あるコミュニティを形成していくことにもつながることから、本年度も社会的・地域的課題に対応した施策を通じ、学習しやすい環境を整えるとともに、地域を担う人材の育成を図るために、厚岸町総合計画を基本とした第8次厚岸町社会教育中期計画に基づき、次の6つの重点に取り組みます。

### 【家庭教育への支援および青少年の健全育成の充実】

深刻な社会的問題となっている情報端末機器に対する接し方や、子育てに不安や悩みを抱える親の共通理解を図るため、各学校や関係部署との連携により、多くの親が集まる機会に家庭教育学習を実施するほか、本年度より実施されるコミュニティスクールにおいて、学校と地域社会の円滑な結びつきを図るべく、学校運営協議会へのサポートを行います。

また、子供が正しい生活習慣を身につけるために最も基本的なことである『早寝・早起き・朝ごはん』の啓発と社会性や人間性を育むために、通学合宿などのさまざまな体験活動を関係機関と連携を図りながら継続実施します。

友好都市である村山市との友好都市子ども交流事業については、本年度は当町において体験活動などを通して児童の交流事業を実施します。



### 【多様な学習機会の充実と情報提供】

学びは個人の生きがいづくり、仲間づくり、地域づくりにつながる。ことから、新たな人材の発掘・育成に努め、町民に学びの機会を提供するための講座や講演会を実施するとともに、生涯学習カレンダーやホームページ、IP告知端末などを活用した学習情報の提供に努めます。

また、生涯学習の拠点施設としての機能をあわせ持った真龍小学校においては、通年で開設する講座の『まなviva厚岸』の拡充に努めるほか、町内で活動するさまざまなサークルなどの活動場所を提供するとともに、ネイパル厚岸などの各種教育施設を有効活用し、学びの機会の拡

### 【情報館事業の充実】

子供の読書活動の更なる推進のため、町内の読み聞かせボランティア団体や学校との連携を図りながら、学校での読み聞かせやブックトークなどの読書案内を継続実施します。子供の読解力や言語能力を養い、豊かな心を育むさまざまな事業を開催するとともに、乳幼児から高齢者までを対象とした幅広い図書館サービスとして、ブックスタート、お年寄りのための読み聞かせなどの読書案内を引き続き開催し、町民の生涯にわたる読書環境の整備に努めるほか、学校図書館活性化会議などの機会を通して、学校図書館の整備充実を支援します。

パソコン講座については、IT技術の習得を支援するため、引き続き開催します。

なお、本年度は、厚岸翔洋高校と連携を図り、就職を希望する生徒を対象にパソコン講座を開催し、ITスキルの獲得と向上を支援します。

さらに、情報館分館については、昨年に引き続きゴールデンウィークと文化の日の祝日開館を実施し、分館の更なる利用促進を図るほか、図書館バスについては、学校や保育所、集会所などの施設をはじめ遠隔地を巡回し、地域の学びの拠点として情報館の各種サービスを提供します。



多くの観光客に親しんでもらえるよう、情報の発信に努めます。

### 【海事記念館事業の充実】

プラネタリウムの活用については、季節毎の番組を自主制作し、プラネタリウムの内容充実を図るほか、小中学校の学習指導要領の内容に沿った放映や天文観察会を実施するなど、小中学校との連携を通じて天文知識の普及に努めます。

また、海事記念館の利用を促進するため、釧路・根室管内の各小中学校へ利用案内の送付や、ホームページなどによる情報発信に努めるとともに、町内の小中学生などに町の歴史の学習機会を提供することや、情報館などと連携を図り『ほしぞら朗読会』などの各種事業を実施し、海事思想の普及に努めます。